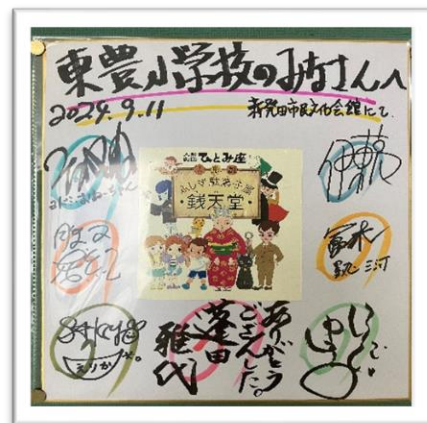


## 喜々として～悩みやつらさもいつかは～

校長 飯塚 進

9月11日に教育鑑賞事業が行われました。今年は、人形劇団ひとみ座の「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」という人形劇でした。とても魅力的なお話で、子どもたちも私たち大人も引き込まれる内容でした。私は、子どもたちの大笑いする様子や、歓声のすごさにも感動しました。東豊小学校の全校の子どもたちが一斉に鑑賞したためもあると思いますが、演技する方の熱さに負けない、観客席の子どもたちのエネルギーのすごさを感じました。



また、10月3日に「なかよし交流会」が行われました。市内の特別支援学級在籍の子どもたちが集って交流するというものです。市内全体では人数が多いため、いくつかのグループに分かれています。今年度は東豊小学校が属するグループが開催される年でした。感染症の関係で中断されていた期間もあったため、久しぶりの交流会でした。

参加した子どもたちは、やはり笑顔いっぱいでした。歓声もあがるなど、大変な盛り上がりでした。特に巨大バルーンによるイベントの時は、踊るように喜び、歓声が会場に響き渡りました。

子どもたちの笑顔、歓声は、いつ見ても、いつ聞いても幸せな気持ちになります。このような笑顔や歓声が日常の学校生活の中でも多くなるといいと願います。

一方で、学校生活では、悩みやつらさをかかえている子どもたちがいるのも事実です。「勉強が苦手」「学校に行きたくない」「友だちとけんかをした」「いじめられている」等、様々な状況の中で、苦しむ子どもたちもいます。すぐに解決できる問題もあれば、なかなか解決ができない問題もあります。すぐに解決してあげられていないことや、その子どもに寄り添う保護者の皆様の気持ちを考えると、より一層力を尽くさなければならないと考えます。

これからも、子どもたちの身の周りに起きる様々な危機に対する未然防止、即時対応を心掛け、子どもたちが豊かな学校生活を送ることができるように努力を続けます。

そして、すべての子どもたちが笑顔で、時には歓声をあげ、喜々として過ごせる学校にしていきたいと思えます。